

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	豊栄児童センター			
管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指定期間	令和6年4月1日	～ 令和9年3月31日
担当課	北区健康福祉課			
所在地	新潟市北区東栄町2丁目14番26号			
根拠法令	児童福祉法			
設置条例	新潟市児童館条例			
施設概要	敷地面積2094.87㎡ 建築面積612.26㎡ 延床面積519.15㎡物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） ・ ボランティア室（28.60㎡） ・ 集会室（38.22㎡） ・ 図書と映像の部屋（30.16㎡） ・ 体育遊戯室（191.40㎡） ・ 創作の部屋（38.58㎡） ・ 事務室（31.83㎡） ほか			

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
（１）地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 （２）児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。 （３）児童館は、子どもが安全に安心して過ごせる居場所になることが求められることから、特に豊栄児童センターにおいては、中学生・高校生の居場所となるよう運営を行う。 （４）子どもの居場所づくりに取り組む地域や団体への支援を通して、地域全体で健全育成を進める環境づくりを行う。

令和6年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	年間利用者数 25,826人 (前年度より2,253人増)	A	利用者数が前年度と比べ大幅に増加している。
	地域への支援	子どもの居場所づくりに取り組む地域や団体への支援を行ったか。	公民館やeスポーツの団体と共催でイベントを実施した。	B	
	満足度	利用者（保護者）アンケートで「満足」が多数であるか	無記入以外の利用者の100%がまた来館したいと回答している。	A	アンケート結果から利用者の満足度の高さが伺える。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	常に速やかに対応し、職員間で共有している。また必要に応じて健康福祉課に相談、報告している。	B	
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	職員間で節約できる場면을共有したり、掲示をして、常に取り組んでいる。	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守している。	B	
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	乳幼児対象59回 小学生以上対象64回 職員の入れ替わりがあり実施できなかった行事が2つほどあったが、その他は計画通りに実施できた。	B	
	中学生・高校生向けの取り組み実施	中学生・高校生が恒常的に来館しているか。	中学生の来館は4,484人(前年度より2,733人増)高校生の来館は130人(前年度より15人増)恒常的に中高生の利用がみられる。	A	中学生利用者数が前年度と比べて大幅に増加し、中学生の居場所となっている。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	避難マニュアルの見直しや、規定通りの避難訓練、通報訓練、消火訓練実施。 館内外の安全点検を月1回実施。	B	
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	外部研修への参加は前年度より回数が減ったが、職員間での実際の事例を取り上げた話し合いは日常的に実施した。	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	就業規則を遵守し、働きやすい環境づくりを意識した。	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

・近隣の中学校に職員が直接出向き、児童センターの利用やボランティアについて広報したあたりから中学生の来館が増加した。中学生の放課後の居場所のひとつとなっている。中学生が増えたことで、幼児や小学生の遊び相手になってくれ、学校や学年をこえた交流もみられる。利用者数が増えたことで遊びのスペース確保や遊び方等の見直しが次年度への課題である。
・研修に関しては、昨年度より回数が減少したので次年度は管理運営団体独自の研修ツールを活用し、職員の学びの機会が増えるよう努めていきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

中学校と連携した広報をすることで、中学生の放課後の居場所としても利用者を増加させている。また、要望・苦情には速やかに対応し、利用者アンケートで高い満足度を得ている。以上の点などから、施設目的を概ね達成しているものと評価する。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	早通児童センター		
管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指定期間	令和6年4月1日 ~ 令和9年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区早通37番地1		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積約500㎡、延床面積336.88㎡ 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） ・ 集会室（44.50㎡） ・ 図書室（38.70㎡） ・ 体育遊戯室（145.76㎡） ・ 事務室（18.45㎡） ほか		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
（１）地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 （２）児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。 （３）児童館は、子どもが安全に安心して過ごせる居場所になることが求められることから、特に豊栄児童センターにおいては、中学生・高校生の居場所となるよう運営を行う。 （４）子どもの居場所づくりに取り組む地域や団体への支援を通して、地域全体で健全育成を進める環境づくりを行う。

令和6年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	雨漏りによる利用制限もあったが昨年を上回る年間14,456人の利用があった。北区はもちろん近隣市町村からの参加もあった。	A	利用制限がある中でも、年間利用者数が前年度と比べ増加している。
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	中学校や地域クラブ、地域の方と連携した行事を実施した。59回	A	地域や学校と連携した行事を多数実施している。
	満足度	利用者（保護者）アンケートで「満足」が多数であるか	利用者のほぼ100%が「満足」と回答している。	A	アンケート結果から利用者の満足度の高さが伺える。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	大きなトラブルや苦情はなかったが、常に事実確認と速やかな対応を意識している。	B	
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	常に節減意識を持ち、光熱水量の節減に努めている。	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守事項について職員の共通理解を図り、実践している。	B	
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	年間行事計画に沿って、地域の方の協力を得ながら実施した。	B	
	中学生・高校生向けの取り組み実施	中学生・高校生が恒常的に来館しているか。	中高生サポーター活動や連携事業などにより、中学生の来館は増加してきた。	B	
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	安全管理や環境整備に努め、各種災害等の避難訓練を実施した。	B	
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	OJTによる職員間の研修を実施するとともに、各種研修に参加した。	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	就業規則等を遵守し、よりよい労働環境の構築を図った。	B	

【評価基準】

A: 要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準（評価指標）が達成されている

C: 要求水準（評価指標）が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。（評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。）

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

雨漏りによる体育館・集会室等の利用制限があったが、年間の利用者数は前年度を上回った。なかでも乳幼児の利用が大幅に増加し、前年度の約1.5倍になった。また、こどもの意見や保護者の意見を取り入れた行事（乳幼児対象、小学生以上対象行事）を実施したことで参加者が増加した。

今後も、こどもたちや保護者の意見を取り入れた行事を実施するとともに、広報活動や地域との連携を図り、安全で楽しく、利用者や地域の方から愛される児童センターを目指し、職員一丸となって力を尽くしていきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

地域と連携し、こどもや保護者の意見を取り入れた行事を実施することで、利用制限がある中でも、年間利用者数を増加させている。また、利用者アンケートでも高い評価を得ている。以上の点などから、施設目的を概ね達成しているものと評価する。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	三ツ森児童館			
管 理 者 名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指 定 期 間	令和6年4月1日	～ 令和9年3月31日
担 当 課	北区健康福祉課			
所 在 地	新潟市北区高森429番地			
根 拠 法 令	児童福祉法			
設 置 条 例	新潟市児童館条例			
施 設 概 要	敷地面積454.28㎡ 延床面積235.67㎡ 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） ・ 児童クラブ室（38.88㎡） ・ 図書室（20.25㎡） ・ 遊戯室（95.58㎡） ・ 事務室（20.25㎡） ほか			

施 設 設 置 目 的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 、 方 針 等
（１）地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 （２）児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。 （３）児童館は、子どもが安全に安心して過ごせる居場所になることが求められることから、特に豊栄児童センターにおいては、中学生・高校生の居場所となるよう運営を行う。 （４）子どもの居場所づくりに取り組む地域や団体への支援を通して、地域全体で健全育成を進める環境づくりを行う。

令和6年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	利用者総数9,476人（454人増）。開館時間の変更により、岡方第一小児童の利用が増加した。	A	年間利用者数が前年度と比べ増加している。
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	岡方コミュニティセンターと共催のイベントを1回実施。児童館主催のイベントでも会場として同センターを2回使用した。 岡方地域のお祭りでは、来館児童によるたのびこの発表や児童館の遊びブースを出店した。 岡方中と連携して夏祭りや水遊びに生徒をボランティアとして派遣してもらった。	A	地域や学校と密に連携した事業を多数実施している。
	満足度	利用者（保護者）アンケートで「満足」が多数であるか	児童館に関するアンケートを2回実施し、ほぼ100%が『楽しい』『とても楽しい』と回答。	A	アンケート結果から利用者の満足度の高さが伺える。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	要望に関しては速やかに検討し実施したり、代替案を提示するなどして都度対応した。	B	
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	水道光熱費節約と工作の材料に自然物や廃材などを積極的に利用し経費節約を心がけている。	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守している。	B	
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	乳幼児対象：70回 小学生以上：109回 天候の警報等で延期や中止したものもあったが、概ね計画通り実施。	B	
	中学生・高校生向けの取り組み実施	中学生・高校生が恒常的に来館しているか。	中高生：67人 17時～18時は中高生優先タイムとし、受け入れ態勢を整えた。中学校に直接赴いてのPRや、おたよりの掲示の依頼、イベントのボランティアに来た生徒に声をかけるなど、積極的に宣伝を行った。	B	
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	毎月施設点検を行い、各種災害の避難訓練を実施。毎月のおたより等で利用者にも災害時の対応について周知できるよう努めた。また、地域組織活動の発案で事故予防やAEDの講習を開催した。	B	
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	研修に9回参加。	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している。	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄 (アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

開館時間が今年度から1時間後ろ倒しとなったことで、校区外の子どもたちも保護者の送迎がたやすくなり来館者が増加した。特に、統合先で一緒に学校へと通うこととなる岡方第一小と岡方第二小の児童同士での交流が更に深まっている。

前年度末から始めていた地域組織活動としての裏の丘の清掃イベントは複数回実施できたほか、活動者からの案をもとに地域の方向けの講習を児童館で開催し、地域交流や学びの場としての活動を行うことができた。なつまつりで地域の方や中学生ボランティアとのかかわりをもとより、今年初めて参加した岡方むら祭りでの児童館ブースでは沢山の地域の方との交流ができ、総じて今年度はより一層地域の児童館としてかかわりを深めることができた。

一方、地域内の岡方中学校には「児童館は小学生が遊ぶところ」との意識を持つ生徒が多いことも実感した。次年度はボランティア活動の幅を広げて中学生とのかかわりを増やし、更なる周知に努めたい。また、乳幼児親子の来館増加を目標として、おたより配布の範囲を広げる方針である。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

地域の環境や伝統を生かした企画、児童館外での地域活動など、地域と連携した事業を年間を通じて多数実施している。また、利用者アンケートでも高い評価を得ている。以上の点などから、施設目的を概ね達成しているものと評価する。